

広島市未来都市創造財団 可部公民館 (2014年3月29日 10:00~)

広島学セミナー「戦後広島を支えた先人達：被爆者・医師・海外の人々編」

宇吹 暁 (うぶき さとる) (専門：ヒロシマ学)

前回のおさらいと補遺

* 「広島を支える」・「先人」・「人物」

* 平和公園 (平) = 名誉市民 (名) = 特別名誉市民 (名) = メアリー・マクミラン
谷本清平和賞 (谷) = 中国文化賞、NHK 放送文化賞。

I 政治編

1. 広島市長

濱井信三 第20・21代 (1947年4月17日~) 第23・24代 (1959年5月2日~)

平和式典創設者。「原爆市長」。広島平和都市建設法

渡辺忠雄 第22代 (1955年5月2日~)

第1回原水爆禁止世界大会。平和乃観音像 = 中島地区の公園内に最初に建てられた碑。

山田節男 第25・26代 (1967年5月2日~)

平和教育。平和の塔 1974(昭和49)10月30日。韓国人原爆犠牲者慰霊碑。

荒木武 第27・28・29・30代 (1975年2月23日~)

国連軍縮特別総会。ローマ法王平和とアピール碑 1983 (昭和58) 年2月25日

平岡敬 第31・32代 (1991年2月23日~)

アジア・太平洋地域の人々に思いを馳せる。韓国人原爆犠牲者慰霊碑移設。2004年第16回谷本清賞受賞。「創りだす平和」を掲げ、平和探求者として世界に向けて平和構築を強く発信している。

秋葉忠利 第33・34・35代 (1999年2月23日~)、
宣言の歴史で初めて「です・ます調」。オバマ米大統領。

松井一實 第36代 松井一實 (2011年4月11日~)

被爆者の被爆体験談を直接盛り込む。

2 内閣総理大臣 (I 政治家.)

佐藤栄作 (1971年)、三木武夫 (1976年)、鈴木善幸 (81)、(総理参列の慣例化)、中曽根康弘 (83、85、87)、小泉純一郎 (01~06)、

国連事務総長

2010式典；潘基文 (バンキムン) 事務総長、ジョン・ルー ス駐日米国大使。英国とフランスの代表が初参列。各国代表は、過去最多の74カ国。

II 平和運動関係者

湯川秀樹 (平)

平和の像「若葉」(湯川秀樹碑) **原爆の子の像の鐘**

藤居平一 = 略歴 1915年8月7日、広島市の銘木店の長男として誕生。45年8月、広島への原爆投下で父と妹を失う。中国大陸から復員後、早稲田大を卒業。56年8月、日本原水爆被害者団体協議会初代事務局長。96年4月17日、病のため死去。80歳。

I 被爆者編

愛宮真備（えのみや まきび）＝1968年（名）＝被爆後、ドイツより帰化（以前フーゴ・ラサール）、原爆の惨禍と世界平和の尊さを国内・外に訴え、広島平和記念聖堂の建立に貢献。1990年死亡。

山崎与三郎＝1973年 中国文化賞＝原爆資料の収集と保存

谷本清＝（1987年 第1回谷本清賞）＝<http://www.hiroshima-peace-center.jp/>

ヒロシマ・ピース・センター創業者 被爆直後、悲嘆にくれた広島の実状を視察して被爆者取材し、核兵器に対する憤りと被爆者への愛といたわりで綴ったアメリカ従軍記者ジョン・ハーシー氏による名著「ヒロシマ」によって、被爆地広島への関心は広がり高まりをみせました。こうした時の1948年、谷本清氏（現：日本基督教団広島流川教会牧師）は、メソジスト教会ミッション・ボードの招きを受け、原爆による被爆の体験をもってアメリカを歴訪。15カ月の間31州、256都市、472団体において“被爆の惨状と平和の尊さ”を訴えました。「ヒロシマ・ピース・センター」という名前は、この訴えに呼応してアメリカで生れ被爆地広島に継承され、広く世界平和の運動を推進する母体として1950（昭和25）年8月8日、財団法人として認可されました。谷本清氏は、本財団創立以来理事長を務め、再三にわたってアメリカに渡り、原爆乙女の治療をはじめ養子縁組等の事業を実現し、国内外で“恒久平和の実現と人類の福祉増進”を図ってきました。

栗原貞子＝1990年（谷）＝（詩人・原爆詩「生ましめんかな」の作者）原爆詩他文学作品を通して戦争や原爆を告発、平和の尊さを訴えている。2005年死亡。

高橋昭博＝1990年（NHK）2008年（谷）＝（広島平和文化センター事業部長）（被爆体験証言者・元広島平和記念資料館長）核兵器廃絶と恒久平和実現のために、半世紀にわたり国内外で証言活動を継続している。2011年死亡。

森滝市郎＝1991年（谷）＝（広島大学名誉教授・平和運動家）被爆者団体を指導し、また核実験抗議の原爆慰霊碑前座込みの姿は、共感する人も多い。1994年死亡。

今堀誠二＝1992年（広島女子大学学長）（第5回谷）＝（広島大学名誉教授・平和思想家）科学的原爆災害研究を先駆け、「平和科学研究センター」の設立など反核平和運動に貢献。1992年死亡。

平山郁夫＝1998年（名）＝広島市現代美術館、広島市立大学、広島平和研究所の開設、原爆ドームの世界遺産一覧表への登録に尽力、文化の振興、平和の推進に貢献。2009年死亡。

河本一郎＝2001年（第13回 谷）＝（「広島折鶴の会」結成）。折り鶴をとおして子供目線の平和活動を指導し、「原爆被害者の会」設立などにも奔走。

中沢啓治＝2002年（第14回 谷）（漫画家・「はだしのゲン」の作者）作品はCD化や翻訳され、世界中の子供や若者たちに親しまれ、平和の意識を高めさせた

坪井直第＝2011年（23回谷）＝（被爆体験証言者・日本原水爆被害者団体協議会代表委員）。自身の証言活動のほか被爆者団体の指導者として、国内外の平和活動推進に尽力。

小倉桂子＝2013年（第25回 谷）＝（平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表）8歳の時に自宅前で被爆。原爆資料館長を務めた夫の馨と1979年に死別後、広島を訪れる海外の学者やメディアに通訳や取材の案内をする仕事を始める。

II 医師編

- 渡辺漸＝1960年(第2回中国科学賞)＝白血病の研究。広島大学医学部。原医研初代所長。
- 松坂義正＝1974年(中)＝原爆被爆者の救済・障害の調査・研究に貢献。1979年死亡。
- 志水清＝1970年(中)＝原爆被爆者の疫学的、社会医学的研究。原医研2代所長。
- 田淵昭＝1970年(中)＝原爆被爆婦人の障害研究。広島大学医学部
- 重藤文夫＝1975年(中)＝原爆病院(現 広島赤十字・原爆病院)の設置及び被爆患者の治療など被爆市民の福祉向上に貢献。1982年死亡。
- 松坂義正＝1977年(中国)＝原爆医療と被爆者援護を推進。
- 原田東岷＝1989年(中国)＝原爆被害者の治療・広島原爆障害者対策協議会の設立に尽力、世界平和の推進、文化振興に貢献。1999年死亡。・・・・(中略)・・・・
- 碓井静照＝2012年(第24回谷)＝(元広島県医師会会長・元 IPPNW 日本支部長)被爆医師として医療の現場から在外被爆者の医療支援及び反核平和活動に尽力された
- 鎌田七男＝2013年(第64回NHK)＝(広島原爆被爆者援護事業団理事長)。被爆者の医療に長年携わるとともに、放射線被ばくによる人体影響の解明という未知なる研究に取り組む。原発事故被害の実態解明に取り組み、H24年8月の原爆の日特集「ヒロシマあくなき“未解明”との闘い」では、最新の研究成果を紹介し番組制作に多大な貢献。

III 海外の人々

- ニール・ブレイズデル＝1963年(特別名誉市民＝名)ホノルル市長。妹都市提携に尽力。
=====
- ノーマン・カズンズ＝1964年(名)1987年(谷第1回)＝(名)原爆孤児に物心両面の援助など平和運動に尽力。(谷)(米国・カリフォルニア大学教授・平和運動家)被爆乙女の渡米治療・被爆孤児の養子縁組等に尽力し、アメリカの良心ともいわれた。1990年死亡。
- アイラ・モーリス＝1967年(名)＝被爆者援助を通じて平和運動に尽力。1972年死亡。
- エディタ・モーリス＝1967年(名)＝被爆者援助を通じて平和運動に尽力。1988年死亡。
- バーバラ・レイノルズ＝1975年(名)＝日本及び世界各国で平和運動に尽力。1990年死亡。<ワールド・フレンドシップ・センター(谷第12回)(海外との平和使節団交換＝代表森下弘)ヒロシマを語る世界のネットワークとして海外交流を通じて原爆の風化を食い止め続ける>の設立者。
- マルセル・ジュノー＝1979年(平和公園)＝被爆者救護に人道的立場から尽力。
- メアリー・マクミラン＝1980年(名)＝広島市での多年にわたる女子教育、平和教育、社会福祉などへの貢献。1991年死亡。
- フロイド・シュモー＝1983年(名)、1988年(谷第2回)＝(名)「ヒロシマの家」の建設・寄附を通じて平和運動に尽力。2001年死亡。(谷)(米国・森林学者・平和運動家)全米から寄附金を集め、被爆地広島・長崎に原爆被害者の住宅「シュモーハウス」を建設
- ジョン・ハーシー＝1994年(谷)＝(米国・報道作家・「ヒロシマ」の著者)被爆直後の広島をルポ、原爆の非人道性をいち早く世界に訴え、反戦平和の姿勢を貫いた。
- バン・ギムン潘基文＝2010年(名)＝国際連合事務総長として平和運動に尽力。

番外編：宇吹にとっての先人編

熊田重邦＝広島県史編さん室長

山崎与三郎＝1973年 中国文化賞＝原爆資料の収集と保存

長岡省吾＝広島平和記念資料館長

小堀吉光＝広島市史編纂室長・公文書館長。

高橋昭博＝NHK（1990年）2008年（谷）＝（広島平和文化センター事業部長）

今堀誠二（第5回 1992年広島女子大学学長）（谷）（広島大学名誉教授・平和思想家）

森滝市郎＝1991年（谷）＝（広島大学名誉教授・平和運動家）

湯崎稔＝広島大学（原医研一→総合科学部）1931－1984年。原爆爆心地復元運動。

志水清＝1970年（中）＝原爆被爆者の疫学的、社会医学的研究。原医研2代所長。

佐久間澄＝、1910－1991年。昭和時代の物理学者、平和運動家。Kotobank（講談社）

昭和16年母校広島文理大（現広島大）の助教授となり、23年教授。大学ちかくで被爆し、原水爆禁止運動にとりくむ。28年「平和と学問を守る大学人の会」事務局長。39年日本原水協代表理事となり、50-60年代表委員。80歳。

吉川清・生美夫妻＝清＝「原爆1号」と呼ばれる1986年死亡。

生美＝2013年12月28日死亡。爆心地から約1・6キロの現広島市中区西白島町で被爆。

河本一郎（谷）第13回 2001年（「広島折鶴の会」結成）。

金井利博＝、[5 2 広島平和問題談話会]（中国新聞社学芸部記者）。中国新聞社取締役論説担当。原爆被災白書運動を提唱。[6 9 原爆被災資料広島研究会]。1974年死亡。

藤居平一から学んだこと

「藤居資料」（簿冊13冊、一点資料も含めた総点数は429点）

1981年～84年 インタビュー。120分テープで60本

1. 被爆地を大切に
 2. 8月6日＝月忌 被爆者団体間で対立があってもこれは一致
 3. 被爆者問題は嫌われ者がやること最初から対立があった。原水爆禁止の一点での共同。
 4. 被爆者問題は、原水爆がなくなっても残る
 5. 新潟の大火に対する救援金カンパを私が提案し、即座に5万3千円が集まったんですが、今度は、原爆障害者問題の私の提案に対して、長崎が賛成し、新潟が、藤居がやったというので賛成。助けることが助けられる。救うものが救われる。Give and Take
 6. 組織の大切さ。町内会、あかしあ会、早稲田同窓会、銘木連合会
 7. 庄野さんが、残留放射能の数値を出してくるのは、根治療法の問題からです。アメリカに出させる前に、我々の方で根治療法を考えられんかということです。
- 学者、政治家、官僚
8. 国際放射線医学研究機関